

JHF 理事会議事録

日 時： 2008 年 4 月 23 日(水) 12:00~17:00

場 所： JHF 事務局会議室（豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 城 涼一 議事録署名人： 下村孝一 松田保子
議事録作成： 桜井加代子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 狩野智子 菊池守男
下村孝一 城 涼一 松田保子

欠席 【監事】市川 孝 對馬和也

（出席理事 8 名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事の一言

大沢理事： 4 月に HG 日本選手権をやりましたが残念ながら日本選手権者は選出出来ませんでした。1 本だけ出来たタスク内容は非常に素晴らしく、来年は紀ノ川で 3 月の良い時期にやろうと準備を進めておりますので宜しくお願いいたします。

内田会長： 3 月 29 日、30 日に木島平のリアルパラワールドへ行って来ました。4 月に入って HG 日本選手権に 4 月 9 日と 13 日の日程で行って来ました。

狩野理事： 先日足尾のクロカン大会に行って来ました。人気のある大会なので参加出来ずキャンセル待ちでも入れなかった人もいました。競技志向ではない方の興味がかなりクロカンの方にある様なので地域との協力関係も大変かとは思いますが、もう少し盛んに出来るとよいと思います。

菊池副会長： 4 月 7 日に讀賣テレビ主催の鳥人間コンテストの図面書類審査会がありました。例年通りの審査員の方達で、約 100 機の申込図面に対し 50 機程度に制限して審査します。安全管理上、従来のやり方で私が疑問を持った部分を何点か提案し、何項目か取り入れてもらいました。事故防止に役立つだろうと思います。

下村常任理事： 1 月から累計で 29 時間飛びました。

松田常任理事： 3 月末にリアルパラワールドに行って来ました。今 JHF レポートの作成中です。狩野さんからアンケートの案を出していただいておりますが、皆さんからのご意見を急いで下さい。

荒井理事： 私はパラの初級機セットをもっと安く作ってもらう様にメーカーお願いしないとこれからフライヤーは増えない様な気がします。

議長： 基本的なことなのですが理事会は全国の会員の収入を預かっていますので、入って来ている会費、入らなければならない収入は大事にして事に当たらないといけないと考えています。

4. 審議事項

第4-1号議案 2007年度事業報告案について

内田会長： 昨年の総会資料をベースに今年のデータ、状況について事務局でコメントを入れてあります。この場で4-1についてはこういう風には書き直した方がよいとか、こういう話題を入れた方がよいなど意見をいただき、次回上程議案を議決する時迄に完結したいと思います。

文章の中でフライヤー会員登録者数が11,914名で7.4%減少になっていますが有効会員数の人数ですね。去年の数字を見たら昨年度登録数が、その前の年度登録数よりも減ったと書いてあってそれと比較してしまうと落ち込みが酷いとなってしまいます。

下村常任理事： これは意味が違って有効登録数と再登録した人の数ですから、有効登録でいくと前年は88.2%で11.8%減でした。前年分も入れて下さい。これからは口座振替もあり3年会員が段々減っていくので有効会員数で出した方がよいです。それから事故はハングが何件、パラが何件、動力付が何件発生しましたとして下さい。

普及事項ですが、もう少し具体的に書いた方がよいでしょう。

内田会長： 普及事業で言うと、JAA がやっているスポーツ航空教室に対して、JHF は紹介という形ですが、2007年は数多くやりました。石川、四国、東京と3回開催されそれぞれ盛況だった様なので、協力をしていますということを入れられると思います。

荒井理事： 普及事業の実施の6)に、各スクールに入山者のフライヤー登録の有効確認をお願いしたということを追加して下さい。

松田常任理事： 理事会で欠席が多くて成立しなかった所は不成立と入れて下さい。

第4-2号議案 2007年度決算報告について

内田会長： 2007年度決算速報と4月頭に私が1月末迄の経理から出た実績値報告書に基づいて予測した決算予測です。

速報は集計した数字があつて漏れが無いかのチェックをし、ここから10万位は差が出ると言われています。次期繰越金の966万のプラスマイナス10万円位があるということは事実です。収入総額は分かり難いのですが、事業活動収入計というのがあつて、予算では5,458万だったのが決算では4,977万でした。これは2007年度JHFが受け取った会費も入れた総額。予算では4,604万使うとしていたものが4,329万で済ませましたということ。この2つの活動費収支からいくと648万円余らせました。これは予算の段階でパラグライディング教本を出版する為に前年度240万、今年度300万を使うと決めてありますから、その分300万を引いて343万が2008年度予算に繰り越すお金です。これは全て前後10万の差があるとは思いますが、2007年度はこれだけのお金を余らせましたという事実と捉えていただきたいと思います。

議長： では審議4-1,4-2は修正すべき所は修正して、次回の理事会で正式決議に至るということにします。

4-1,4-2号議案は、次回理事会にて総会上程案として最終審議とすることとした。

第4-3号議案 2008年度予算案について

議長： 先取りした3年会員の会費収入ですが、これについて取り崩すかどうかという点をまず議論していただきたいと思います。

下村常任理事： 取り崩すには予算で審議し総会の決議で取り崩さないと。積み立てたのは総会で決めたので取り崩すには総会の承認が必要です。

議長： 監事から3年会員の会費分は取り崩しをしないでいくということです。審議を続けたいと思います。

菊池副会長： 色々な可能性の提案を1ヶ月半にわたって皆さんから意見をいただいていたのですが、先程の様に監事2名がなるべく取り崩さない様にとのことですので、足りない分は融通の利く所から出せばよいと思います。また余った分は次に使える訳ですから、不足分だけを項目別に減らせる所は減らせばよいと思います。

内田会長： 収入のその他収入なのですが、2006年、2007年その他収入が180万位あるのですが、スカイレジャー無線の貸出をしているので毎年定期的に入ってきています。

下村常任理事： けどその分は無線機を買っていますからね。

内田会長： 去年は20台買って支出で使っています。2007年は20万支出しているのですが、2008年も収入予算の中ではその収入は入るということで予算書に入れた上で支出に入れた方がよいと思います。

大沢理事： 修理とか壊れた時に補充する名目で去年20台足して、とりあえず3つの大会が同時にあっても足りなくならない様にとのことでした。

荒井理事： 毎年同じ様なことをやっているのもっと5年、10年先を考えて見据えて先手を打ってやらないと。固定費を減らす、事務局家賃を安く、キャノピーを安くする様にメーカーにお願いするとか、色々なことをやらないといけないと思います。

内田会長： JHFレポート1回発行するのに180万かかるというのに対し、全く手を打たないことになっています。これを1回でも出すのか、出すために他の予算から出すのかを話さないといけない。もう1つは今年行った教員検定員研修検定会で32名の検定員が生まれたのですが、3年後に再度研修検定会をやらなければいけません。来年、再来年の事業ではありませんが、これは定期的に30万ずつ積み立てをした方がよいでしょう。JHFレポートは配送料にお金を掛けているので、色々な工夫を考える余地はあるかという気もします。

議長： JHFレポート180万が必要なのではないということですが、先程から矛盾に感じているのは、抜本的に改革しようというのであれば一番会員に係る所は外せないということで常識的に考えられる訳です。世界選手権事業費とか、日本選手権事業費とかをもう一度削った方がよいのではないですか。

内田会長： それについて私の考えは、2ヶ月前に審議して金額を設定し、FAIの傘下にあるスポーツ統括団体として競技にあるこれまでと同じ実績はおきましようとする案を入れ

たと理解しています。バランスから考えてもそれを削って上にあげるのではなく、JHF レポートが欠落しているのできちんと入れて予備費金額とのバランスを取りましようと言ったつもりです。

松田常任理事： 2007 予算は 180 万全額を予備費から出したのではなくて、不足分を予備費から出したのです。

内田会長： 事務局の広報出版部の中から、編集その他は松田さんがボランティアでやっていて何とか 60 万で原稿を作るまでやる。それを含めて 180 万実際に掛かるのですから足りない分は予備費から出して、それは 120 万強。それが事実です。

下村常任理事： 発送の工夫が必要ですね。フライヤー登録の案内を出す時に一緒に組み込めば少なくともその分は減ります。そういう団体もありますから。

松田常任理事： 管理費のネットワーク保守費用、システムの保守は？

大沢理事： 西ヶ谷さんがやっている JDC のメンテナンスがあります。

内田会長： システム補修費で年間 36 万。雑費を 40 万にしておく。

下村常任理事： 決を取る前に監事に電話し、運営基金は取り崩さなかったけど繰越金を積み増しして増えた分だけ使わせてもらったけど宜しいですかと話を通した方がよい。

内田会長： 對馬さんとしてはもろ手を挙げて賛成は出来ませんが理事会が決めるのであれば分かりましたとのこと。966 万の繰越金はそのまま残すべきでしょうと言われましたが、そうではなく 2006 から 2007 年に繰り越した分を残し残りは使ってしまうということで決めます。それでもう 1 点ですが、貯蔵品があってデータを送ってあるはずですが PG と HG の教本が印刷会社の倉庫にあります。それを議論しておいて下さいとのこと。

議長： では 2008 年度の予算案はこれで宜しいでしょうか。

採決の結果、【賛成 7 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、菊池、下村、松田

第 4 - 4 号議案 2008HG 世界選主権代表選手の承認について

大沢理事： 今年 7 月にクラス I 女子とクラス V の世界選がイタリアであります。選手派遣承認願いが競技委員会から出ていますのでお願いします。メンバーは添付の通りです。女子世界選に出る参加資格が 2 名不足しているのですが競技委員会で推薦しますということで、理事会で承認の後 JAA にお願いすることになりますので宜しくお願いいたします。

採決の結果、【賛成 7 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、菊池、下村、松田

第 4 - 5 号議案 補助動力委員の承認について

菊池副会長： 委員が定員 5 名の所を 6 名の応募がありました。6 名でやらせていただきました

いという請願書と要望が出ております。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、菊池、下村、松田

5. 協議事項

5-1 6月通常総会上程予定の議題について

下村常任理事： 先程の事業報告、事業計画の中で、委員長に何らかの形で去年の報告と来年の計画を教えてくださいとお願いしましょう。

松田常任理事： 私が提案をしたのですが、委員会をやるからには結局1度はどこかで皆さんは会うので、年に1回集まって委員総会を行ったらいかがでしょうか。競技委員会は大会でやっておられるので外れてもよいのですが。

下村常任理事： 理想ではありますが、全国から集めるとお金が掛かりますね。

内田会長： 総会資料に向けてはメールで全委員に対して早急に委員同士で作ってくれる様をお願いをします。

次に、今年の通常総会で上程しないといけないもので、理事会から制度委員会に諮問してある役員選挙規約です。総会で決めて次の2009年総会で役員選挙をする為の規約です。

それから今日はこの後、三法委員会があります。理事会から正会員に対し、現在は民法による社団法人ですがそれが何と何になる選択肢があるか説明し、上程案を問うとうことを出します。基本的に理事会では決議済みで、移行する先は公益社団法人になるということによりかということを決めていただきます。

後2つ、今迄の理事会で出ていますが皆さんに出すかどうかを考えていただきたい。1つは、フライヤー会員登録料、年間3,500円、3年9,999円ですが、それについて都道府県連盟の分配金を650円出すという公約が過去にありました。それを500円にしてくれという総会の説明があり、それきりなし崩しで出していないという不満をずっと言われています。それに対してどうするかです。それと最後の議案は、狩野さんの件で出産予定が6月です。理事会に出るのは難しくなりますので、我々理事は選挙で選ばれていますので、活動停止について、産休をいただきたい。

上程案については、5月理事会迄で再確認することとした。

5-2 石川県連から理事会宛文書

下村常任理事： 理事会としては、JPAとも仲良くしていきたいので、石川県を含め北陸三県がパイプ役になっていただければ大変嬉しいと思います。

6. 報告事項

6-1 MPG 教員検定についての暫定措置

内田会長： MPG 教員技能証について、昨年理事会、委員会でパラの教員検定員で補助動力技能証を持っている人が出してもいいのではないかと決まっていました。当時は13名の検定員しかいませんでした。パラは11名、その内補助動力を持っている人は3名です。その人達だったらいいだろうという決議だったと思います。今回32名教員検定員が生まれ、その内パラが20数名、補助動力は10数名います。この過去の決議を根拠にその方たちにMPG

教員技能証を出して欲しいと事務局からお願いすることにします。

荒井理事： 本当に必要性がある人はパラの教員技能証を持っている人です。本当に必要な人の救済を考えないといけませんので、その辺りの検討も必要かと思います。

6-2 リパック制度検討開始について

内田会長： JHF としてもリパックをきちんと目に見える形にして、フライヤーに意識を持たせるのは必要という話を始めています。

6-3 第 32 回鳥人間コンテスト書類選考会の参加報告

菊池副会長： 4月7日に鳥人間コンテストの審査会に参加して来ました。従来の審査会で100機の内コンテスト自体は50機程度で行われます。審査会や運営の中で自分が飛んでいる人はいません。高度制限は目標を10mにする基準を作った方が安全ですと提案をしました。それからタイムトライアルでゴールが観客席の目の前なので、ブレーキ装置がないのでドラッグ・シュートをつけるか300m位沖合にゴール地点を戻した方がいいですよと言いました。また救助側のダイバーが機体に付いているワイヤーが見えず、そこで擦ってケガをする。パイロットより救助側がケガをすることが多いので、60cm間隔位でワイヤーに小さな印を付けるということ最低限やる策を取った方がいいですよと提案をしました。そういうことは危険なことなので分かり次第徐々にやっていきたいと思っています。

6-4 JAA 航空遺産継承基金・法人賛助員継続

6-5 JAA よりアンチドーピング参考資料

6-7 6-8 JHF レポート・教本の進捗状況

それぞれ別紙のとおり報告された。

6-9 その他

下村常任理事： 最後に今日から理事会の日当2,000円は廃止しましょう。

内田会長： 各委員会の日当に関しては2008年度4月から緊縮を緩和して4,000円でしたよね。

下村常任理事： はい。理事・監事のみ4月から日当を止めましょう。

議長： では申し合わせをして今月より理事・監事の日当は中止しました。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(城 涼一)

署名人

(下村 孝一)

署名人

(松田 保子)